

10月4日（土）に信州大学繊維学部にて長野支部総会を行いました。参加者は13人で、近況などを報告しあい和やかな時間を過ごしました。総会、昼食、懇談の後繊維学部学部長である村上泰教授から信州大学繊維学部の歴史と今後の展開、女子学生の動向などについて講演していただきました。信州大学繊維学部は「繊維」の名を冠する国立大学唯一の学部で上田蚕糸専門学校を母体とした伝統ある学部です。現在的女子学生の比率は30%以上であり、そのうち80%が大学院に進学するとのこと時代の流れを感じました。講演の後、先生方の説明を受けながら講堂、真綿・蚕糸館、資料館など大学構内の施設を見学しました。講堂は国登録有形文化財の美しい建物で時々ドラマのロケなどで使用されるようです。真綿・蚕糸館には絹や蚕を使ったすばらしい作品が展示されていました。資料館には養蚕の歴史がわかる様々な資料が展示されていました。大学施設は個人ではなかなか見学できない場所なので、遠くから参加された皆さんにも喜んでいただけたと思います。



講堂と演壇の蛾の意匠



真綿・蚕糸館の展示品



信州大学繊維学部講堂にて



資料館の展示品